



令和7年7月1日

担当課	都市再生課
担当者	中野
電話	(073) 435-1048
内線	2990

「和歌山駅まち空間活性化基本構想」を策定しました！

このたび、和歌山県及び西日本旅客鉄道株式会社との3者共同により和歌山の玄関口に相応しい魅力あふれる駅まち空間としての将来像と再整備のあり方の検討を進め、目指すべき目標となる「和歌山駅まち空間活性化基本構想」を策定しました。

コンセプト

“くくる” (結ぶ)

まち

暮らし

魅力



“わえき”
(和歌山駅)



“えきまち”
(駅まち空間)

“くくる！わえきまち”

地域の暮らしや文化、様々な交流がつながる象徴的な場として市民に受け止められる空間、また、紀伊半島エリアにおける観光滞在の拠点、多種多様な利用者が快適にすごしながら人々の交流が生まれる場所として、観光客も訪れたい空間づくりを目指します。

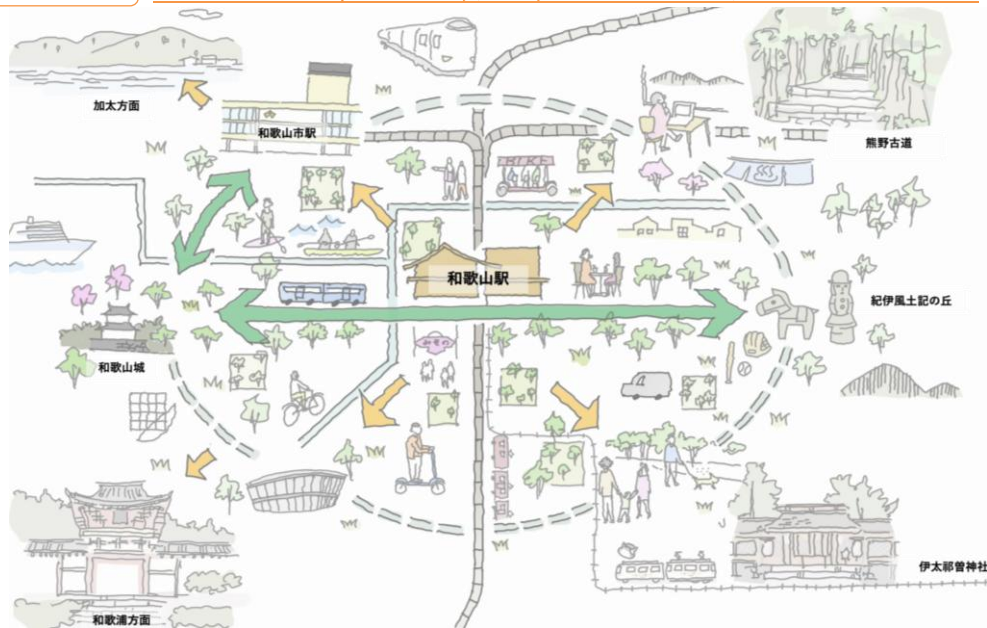
サブコンセプト①

和歌山駅周辺を紀伊半島を巡る観光滞在拠点に



県内外各地へ繰り出せるような観光拠点としての駅周辺機能の強化と、駅と各名所をくくる広域交通ネットワークの連携を実現することで、“聖地リゾート”の玄関口であり観光滞在拠点として機能する駅まち空間を目指します。

サブコンセプト② まちなかの魅力を育て、つなげる市内回遊拠点に



新しいモビリティの導入や自転車活用の推進を視野に入れた市内交通ネットワークの再編、乗換利便性が高く快適な滞在機能を有した広場や公園を含む市内回遊拠点づくりを目指します。

基本方針

3つの“くる”を基本方針として掲げ、デザインの視点によってそれらを互いにつむぎ、より魅力的で、領域を越えて一体感のある和歌山駅まち空間を目指します。



「わえきまち」を形づくるアイデア

※パースは目指すべき目標のためのアイデアであり、このとおりに整備されるものではありません。

今後は、地域住民、商業・交通事業者、まちづくり団体、行政等のさまざまな主体が連携・協働し、和歌山駅まち空間の活性化に向け、多様なアイデアを見つけていくなど、検討を深めてまいりたいと思います。